

県「清流アスリート強化指定」

104団体と

99人選出

県は本年度の「清流アスリート強化指定」に104団体(137部・チーム)、個人



平木省副知事(中央)から強化指定証を受け取った代表者＝県庁

99人を選出した。28日、県庁で指定証の交付式があった。

1990年に始まった制度。国体を主とする各種全国大会や国際大会で活躍が期待できるチームや個人を指定し、合宿や遠征費の助成、科学的なサポートなどを行っている。交付式では、平木省副知事が「県民の期待を担い、勇気を与えてほしい」とあいさつし、出席した代表者それぞれに指定証を手渡した。

昨年6月の陸上の日本選手権男子1500メートル優勝、7月のホクレン中長距離チャレンジでは日本新記録を樹立した河村一輝(トイエネック、大垣日大高出)は「大きな励みになり、その責任を実感した。国内外の大会で良い結果が残せるように精進したい」と意気込んだ。松波総合病院柔道部の松波英寿総監督は「選手

の頑張り、職員、監督は「選手

の頑張り、職員、監督は「選手

の頑張り、職員、監督は「選手

の頑張り、職員、監督は「選手